



ウィトラレポート 2008年2月号

「3GPPの審議内容(SAでの審議内容を中心に)」

はじめに

今回は、現在の3GPPでの審議内容を多少詳しく見ていくことにしよう。

3GPPの仕様書は全体で4500本にもものぼる膨大なものであるがこれは全てバラバラではなく構造を持っている。そして管理しやすいように、冗長度を持った構造を持たせている。今回のレポートでは

- ・3GPPの仕様書がどのような構成になっているかを示す
- ・現在審議の中心になっているRelease8の内容を概観する
- ・その中で、システム全体に関わる内容：SA (Service and System Aspect) グループで審議されている内容について解説する。

先月のレポートで書いたようにGSMの強さは無線技術のみならずネットワーク技術、サービスに関しても詳細に規定し、ユーザーが世界中どこへ行っても基本的サービスは均質的に受けられるようにしている点である。これは現在でも3GPP2やWiMAX Forumと比較しても際立った特徴といえるであろう。内容は極めて多岐にわたるので詳述はしないが、どのような内容が審議されているかを知るだけでも、従来の日本の移動体通信の標準化との違いは明確になるであろう。